

大学名 岡山大学

第72号 特集テーマ「データ人材の育成」

表題 デジタルネイティブの心に火をつける！

特色ある取組

生まれたときからインターネットが身近にある世代「デジタルネイティブ」が増えてきています。デジタルトランスフォーメーション(DX)が注目され、デジタル技術の活用で社会変革も始まっています。大学生、大学院生、若手技術者はそれを身をもって体験しています。その若い世代に何を投入すべきか？現状の課題を熟知しその解決を志す世代とデジタルネイティブとの掛け合わせこそがデータ人材の育成に重要だと考えます。

この気づきはリカレント教育などを通じた【学生と実社会との接点】にありました。岡山大学では、教育研究の組織(Cypher)と地域貢献の組織(OASIS)を立ち上げて活動をしていましたが、学生がリカレント教育(おかやまIoT・AI・セキュリティ講座)のTAとして社会人の演習を支援したり、ハッカソンで社会人と一緒にモノを製作する中で、社会人からリアルな現場の課題を聞き、それに興味をもち取り組み始めました。まさに学生らの心に火がついたのです。

自然発生的にデータサイエンス部(DS部)が設立され、数年で150名を超える学生、大学院生、教職員、社会人の間で情報が行き交い、デジタル技術やデータ利用が活発に議論されています。学生ベンチャーが立ち上がり、学生発の活動組織も日々増殖しています。

データ人材の育成には、新鮮な情報を入手するだけでなく、リアルな課題に取り組むアクションと実践の場が必要です。大学は、そのための最適な環境を提供し、仲間と共にチャレンジする文化の醸成を心掛けています。



岡山大学DS部は150名を超える学部生、院生、教職員が参画しています。地域課題から国際的な課題まで、部員の専門分野を最大限に発揮しながらアイデアを出し合い、形にしています。データ解析、アプリ開発、HP作成、IoTシステムなど、それぞれの学生ができるレベルから活動し、成長しています。「おかやま夢育イニシアチブ」を通じて、このようなスキルや思考法を高校生に伝える活動も推進しています。

期待できる成果・評価

これからの社会では自ら課題を発見し、解決する能力が重要です。学生の間により多くの原体験をすることを期待します。小さくとも成功体験が望ましいですが、数多くの失敗も若者の特権です。チャレンジすることの醍醐味が分かるでしょう。矜持をもって課題に取り組む人材を育成したいと考えます。



参考URL

- 岡山大学 データサイエンス部(DS部)
<https://okadai-dsc.studio.site/>
- おかやまAI・セキュアIoT共創コンソーシアム(OASIS)
<https://oasis.okayama-u.ac.jp/>
- サイバーフィジカル情報応用研究推進部門(Cypher)
<https://www.cypher.okayama-u.ac.jp/>
- 岡山大学AI・数理データサイエンスセンター(Angels)
<https://angels.okayama-u.ac.jp/>
- 実践的AI・セキュリティ講座
<https://isec.ec.okayama-u.ac.jp/oias/>
- おかやま夢育イニシアチブ
https://www.okayama-u.ac.jp/dkohoshi/icho_104/original.pdf